

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、(例) NPO会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

.....

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却しています。

(3) 引当金の計上基準

・退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき当期末に発生していると認められる金額を計上しています。なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算しています。

・〇〇引当金

.....

(4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスの受け入れは、活動計算書に計上しています。

また計上額の算定方法は、「3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」に記載しています。

(5) ボランティアによる役務の提供

ボランティアによる役務の提供は、「4. 活動の原価の算定あたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記しています。

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業費の内訳

(単位：円)

科目	居場所事業	フリースクール事業			合計
(1) 人件費					
給料手当	645161	1655793			2300954
	598	1796			2394
人件費計	645759	1657589			2303348
(2) その他経費					
図書費	0	59687			59687
施設利用料	0	62122			62122
印刷製本代	5415	16245			21660
消耗品費	36150	284471			320621
保険料	9250	17990			27240
賄材費	145808	8956			154794
賃借料	235255	240000			475255
光熱水費	33000	120000			153000
支払手数料	0	60000			60000
旅費交通費	0	18980			18980
その他	1400	0			1400
その他経費計	466278	888451			1354729
合計	1112037	2546040			3658077

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

(単位：円)

内容	金額	算定方法

4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

(単位：円)

内容	金額	算定方法

5. 用途等が制約された寄附金等の内訳

用途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。
当法人の正味財産は×××円ですが、そのうち×××円は、下記のように用途が特定されています。
したがって用途が制約されていない正味財産は×××円です。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考

6. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
車両運搬具	×××	×××	×××	×××	△×××	×××
什器備品	×××	×××	×××	×××	△×××	×××
.....						
無形固定資産						
.....						
投資その他の資産						
敷金	×××	×××	×××	×××	△×××	×××
.....						
合計	×××	×××	×××	×××	△×××	×××

7. 借入金の内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金	0	140000	40000	100000
合計	0	140000	40000	100000

8. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	計算書類に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書)		
受取寄附金	0	0
委託料	0	0
活動計算書計	0	0
(貸借対照表)		
未払金	0	0
役員借入金	100000	100000
貸借対照表計	100000	100000

9. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

- ・ 事業費と管理費の按分方法
.....
- ・ その他の事業に係る資産の状況
.....